

(2) 酸可溶物 本品 1.0 g に希塩酸 20 mL を加え、15 分間振り混ぜた後、ろ過する。ろ液 10 mL を蒸発乾固し、450 ~ 550 °C で恒量になるまで強熱するとき、残留物は 0.010 g 以下である。

(3) 炭酸塩 本品 1.0 g に水 5 mL を加えてかき混ぜた後、薄めた硫酸 (1 → 2) 10 mL を加えるとき、泡立たない。

(4) 重金属 本品 1.5 g に水 50 mL 及び塩酸 5 mL を加え、20 分間よく振り混ぜながら穏やかに煮沸し、冷後、遠心分離し、上澄液をとり、沈殿を水 10 mL ずつで 2 回洗い、毎回遠心分離し、上澄液及び洗液を合わせ、アンモニア水 (28) を滴加し、沈殿がわずかに生じたとき、強く振り動かしながら希塩酸を滴加して再び溶かす。この液に塩酸ヒドロキシアモニウム 0.45 g を加えて加熱し、冷後、酢酸ナトリウム二水和物 0.45 g 及び希酢酸 6 mL を加え、必要ならばろ過し、水 10 mL で洗い、ろ液及び洗液を合わせ、水を加えて 150 mL とする。この液 50 mL をとり、これを検液とし、試験を行う。比較液は鉛標準液 2.5 mL に塩酸ヒドロキシアモニウム 0.15 g、酢酸ナトリウム 0.15 g、希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする (50 ppm 以下)。

(5) 鉄 本品 0.040 g に希塩酸 10 mL を加え、水浴中で 10 分間振り混ぜながら加熱する。冷後、L-酒石酸 0.5 g を加え、振り混ぜて L-酒石酸を溶かした後、以下第 2 法により検液を調製し、B 法により試験を行う。比較液には鉄標準液 2.0 mL を加える (500 ppm 以下)。

(6) ヒ素 本品 1.0 g に水 5 mL 及び硫酸 1 mL を加え、砂浴上で白煙を生じるまで加熱し、冷後、水を加えて 5 mL とする。これを検液とし、装置 B を用いる方法により試験を行う (2 ppm 以下)。

(7) 異物 本品 5 g をビーカーに入れ、水 100 mL を加えてかき混ぜ、砂を残すように傾斜する。更に毎回水 100 mL を用いてこの操作を数回繰り返すとき、砂状の残留物を残さない。

強熱減量 15.0 % 以下 (1 g, 600 °C, 5 時間)。

可塑性 本品 5 g に水 7.5 mL を加えてよく振り混ぜるとき、著しい流動性がない。

貯法 容器 密閉容器。

カカオ脂

Cacao Butter

OLEUM CACAO

本品はカカオ *Theobroma cacao* Linné (*Sterculiaceae*) の種子から得た脂肪である。

性状 本品は黄白色の堅くてもろい塊で、わずかにチョコレートのようなにおいがあり、敗油性のにおいはない。

本品はジエチルエーテル又は石油エーテルに溶けやすく、沸騰エタノール (99.5) にやや溶けやすく、エタノール (95) に極めて溶けにくい。

脂肪酸の凝固点: 45 ~ 50 °C

融点: 31 ~ 35 °C (融解しないでサンプルを毛细管に詰める、以下は第 2 法に準ずる)。

比重 d_{20}^{20} : 0.895 ~ 0.904

酸価 3.0 以下。

けん化価 188 ~ 195

ヨウ素価 35 ~ 43

貯法 容器 密閉容器。

カゴソウ

Prunella Spike

PRUNELLAE SPICA

夏枯草

本品はウツボグサ *Prunella vulgaris* Linné var. *lilacina* Nakai (*Labiatae*) の花穂である。

性状 本品はほぼ円柱形で麦穂状を呈し、長さ 3 ~ 6 cm、径 1 ~ 1.5 cm、灰褐色である。花穂は多数の包葉及びびく筒を付け、上部にはしばしば花冠が残存する。通例、がく中に四分果があり、包葉は心形~偏心形で、がくと共に脈上に白色の毛がある。質は軽い。

本品はほとんどにおい及び味がない。

純度試験

(1) 茎 本品は茎 5.0 % 以上を含まない。

(2) 異物 本品は茎以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 13.0 % 以下。

酸不溶性灰分 5.0 % 以下。

ガジュツ

Zedoary

ZEDOARIAE RHIZOMA

莪朮

本品はガジュツ *Curcuma zedoaria* Roscoe (*Zingiberaceae*) の根茎を、通例、湯通ししたものである。

性状 本品はほぼ卵形を呈し、長さ 4 ~ 6 cm、径 2.5 ~ 4 cm である。外面は灰黄褐色~灰褐色で、節は環状に隆起し、節間は 0.5 ~ 0.8 cm で、細かい縦じわ、根を除いた跡及び分枝した根茎の小隆起がある。ルーペ視するとき、外面に粗毛を認める。角質で切りにくく、その横切面は灰褐色で、皮層は厚さ 2 ~ 5 mm、中心柱は広く、これらの境は淡灰褐色の線として認められる。

本品は特異なおいがあり、味は辛くて苦く、清涼である。

灰分 7.0 % 以下。

精油含量 本品の粉末 50.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.5 mL 以上である。ただし、あらかじめフラスコ内の試料上にシリコン樹脂 1 mL を加え、試験を行う。

ガスえそウマ抗毒素

Gas Gangrene Antitoxin, Equine

ガスえそ抗毒素

本品はウマ免疫グロブリン中の *Clostridium perfringens* (*C. welchii*) Type A 抗毒素、*Clostridium septicum* (*Vibrio septique*) 抗毒素及び *Clostridium oedematiens* (*C. novyi*) 抗毒素を含む液状の注射剤である。

本品は *Clostridium histolyticum* 抗毒素を含むことがある。

本品は生物学的製剤基準のガスエソウマ抗毒素の条に適合する。

性状 本品は無色～淡黄褐色の澄明又はわずかに白濁した液である。

ガーゼ

Absorbent Gauze

本品は *Gossypium hirsutum* Linné 又はその他同属植物 (*Malvaceae*) の種子の毛より得た純綿糸を平織した原布を脱脂し、漂白したものである。本品の内容量の表示にはタイプ、長さ及び幅を記載する。

性状 本品は白い布で、におい及び味はない。

純度試験

(1) 水溶性物質 本品 20 g に水 500 mL を加え、蒸発する水を補いながら 15 分間穏やかに煮沸し、漏斗を用いて浸液を 1000 mL のメスフラスコに入れ、ガーゼを漏斗に移し、ガーゼに含まれた液をガラス棒で押し、熱湯 250 mL ずつで 2 回洗い、毎回ガーゼを圧して浸液及び洗液を合わせ、ろ過した後、水を加えて 1000 mL とする。ろ液 400 mL をビーカーにとり、蒸発濃縮し、はかり瓶に入れ、ビーカーを少量の水で洗い、洗液をはかり瓶に合わせ、105 °C で恒量になるまで乾燥するとき、残留物は 20.0 mg 以下である。同様の方法で空試験を行い、補正する。

(2) 酸又はアルカリ (1) の浸液 200 mL にフェノールフタレイン試液 5 滴を加えるとき、液は赤色を呈しない。また、浸液 200 mL にメチルオレンジ試液 2 滴を加えるとき、液は赤色を呈しない。

(3) デキストリン又はでんぷん (1) の浸液 200 mL にヨウ素試液 2 滴を加えるとき、液は赤紫色～青色を呈しない。

(4) 色素 本品 10 g にエタノール (95) 80 mL を加えて冷浸し、圧出して浸液 50 mL をとり、ネスラー管に入れ、上方から観察するとき、液の色は黄色を呈することがあっても青色又は緑色を呈しない。

(5) 蛍光増白剤 本品は暗所で紫外線を照射するとき、全面に染着された蛍光を認めない。

(6) 沈降速度 本品 10 g をとり、径 0.4 mm の銅線 (26 番線) を用いて作った径 50.0 mm、深さ 80.0 mm、線と線との距離 20 mm で重さ 3.0 g の試験かごの中に均等に入れ、水温 24 ~ 26 °C の水面上 12 mm の高さからかごを横にし、深さ 200 mm の水の中に静かに落とすとき、かごは 8 秒間以内に水面下に沈む。

(7) その他の繊維 本品 1.0 g を 0.5 mol/L ヨウ素試液に 1 分間浸し、よく水で洗うとき、着色した繊維を認めない。

形状試験 本品の形状を次に示す。

タイプ	1 cm 間の条数 (本)				1 cm × 1 cm の条数の許容誤差	標準幅 (cm)	標準質量 (g)
	縦糸		横糸				
	平均	許容誤差	平均	許容誤差			
I	12	± 1	12	± 1	$24 \pm \frac{2}{1}$	$30 \pm \frac{0.5}{1.0}$	幅 30 cm 長さ 100 cm 10.3 ± 8 %
II	12	± 1	12	± 1	$24 \pm \frac{2}{1}$	91.4 ± 1.5	幅 91.4 cm 長さ 30 cm 8.7 ± 8 %
III	11	± 1	9	± 1	$20 \pm \frac{2}{1}$	91.4 ± 1.5	幅 91.4 cm 長さ 30 cm 7.6 ± 8 %
IV	9	± 1	8	± 1	$17 \pm \frac{2}{1}$	91.4 ± 1.5	幅 91.4 cm 長さ 30 cm 6.1 ± 8 %

長さ：本品を平らな台の上に置き、不自然なしわや張力を除き、全長を置尺で中心線を測定するとき、表示の 95 % 以上である。ただし、長さの方向の両端に密織部分のあるものは全長を測定し、密織部分のないものは網目組織だけを測定する。

幅：本品を平らな台の上に置き、不自然なしわや張力を除き、異なった 3 箇所以上について全幅を置尺で測定するとき、その平均値は表示が 5 cm 以下のものは表示の 80 ~ 120 %、5 cm を超え 30 cm 以下のものは表示の -1.0 cm ~ +0.5 cm、30 cm を超えるものは表示の ±1.5 cm とする。ただし、幅の方向の両端に密織部分のあるものは全幅を測定し、密織部分のないものは網目組織だけを測定する。

条数：1 cm × 1 cm の空間のある枠を作り、枠の端に糸を合わせ、枠内の条数を数え整数位を読み 3 回以上の平均値をとる。ただし、密織部分を除く。

質量：本品を約 10 cm 平方にたたみ、あらかじめ亜硝酸ナトリウム飽和溶液の蒸気で飽和したデシケーターに入れ、常温で 4 時間放置した後、質量を量る。各タイプのもので標準幅、長さがなく、種々の幅、長さ加工されたものは約 900 cm² になるよう試料を採取し、規格値の標準面積の質量から換算して算出する。この場合の許容誤差は ±12 % である。ただし、長さ又は幅の方向の両端に密織部分のあるものは全長又は全幅を測定し、また、長さ又は幅の方向に密織部分のないものは網目組織だけに調整して長さ又は幅を測定し、規格値の標準面積の質量から換算して算出する。

灰分 0.25 % 以下 (5 g、生薬試験法の灰分の項を準用する)。

貯法 容器 密閉容器。

滅菌ガーゼ

Sterile Absorbent Gauze

本品は「ガーゼ」を滅菌したものである。

性状 本品は白い布で、におい及び味はない。

純度試験

(1) 水溶性物質 本品 20 g に水 500 mL を加え、蒸発